

## 政策専門課程第9期 (平成26年7月23日～8月8日)

課 目 名	政策形成の手続きと戦略
時 限 数	2時限
担 当 講 師	<p>首都大学東京大学院教授 大杉 寛          &lt;プロフィール&gt;          1997年 東京大学大学院総合文化研究科より博士(学術)取得          1996～1999年 成城大学法学部専任講師          1999～2005年 東京都立大学法学部助教授          2005年4月～ 現職          その間、ジョージタウン大学客員研究員, 政策研究大学院大学客員教授</p>
ね ら い	<p>地方分権の進展に伴い、自治体における戦略的な政策形成の必要性が求められる。本講義では、人口減少時代の到来のなか、自治体政策マネジメントの戦略性に意義を考えることをねらいとする。</p>
講 義 概 要	<p>〔構成〕下記の各項目を予定している。</p> <p>I 地方分権と政策マネジメントの戦略性：自治体において政策マネジメントを考える意義を地方分権との関係から再確認する。とくに現場実践と職場組織という観点から検討したい。</p> <p>II 人口減少と政策マネジメントの戦略性：人口減少社会の到来と自治体政策マネジメントの関係について、とくに行政需要の変動と政策対応のあり方の変化について検討する。</p> <p>III 住民参加と政策マネジメントの戦略性：政策形成の手続きで重視されるべき住民参加について、政策マネジメントの観点から検討する。</p>
受 講 上 の 注 意	<p>これまで携わった業務等について、「政策」という観点から振り返ったとき、どのようにとらえられるかについて考えておいてください(とくにペーパーの提出は求めませんが、講義中指名して発言をお願いする場合があります)。</p>
使 用 教 材	なし
効 果 測 定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	